



「これからの暮らし方」の実践者が、能登・金沢にはたくさんいます

「地方に移住」ましてや「町家」「古民家」と聞くと、昔ながらのノスタルジックな暮らしを思い浮かべる人が多いかもしれません。でも実は、今「地方」や「町家」「古民家」に住む人たちの暮らし方は、むしろ新しい。

かつての暮らし方にただ回帰するのではなく、昔ながらの営みや今の技術をふまえて、時代と自分に合った暮らし方を編み出す。ローカルな資源と、自らのスキルをかけあわせて、これまでになかった価値を生み出す――。

今回は、金沢・能登で町家・古民家の活用に関わっていて、自身もUターン・Iターン経験者、今は移住者のアドバイザー的存在というゲスト2人が「町家と古民家」、そして、「これからの暮らし方」について語ります。

日時：2018年8月26日（日）16:30～19:00

（16:30～トーク／18:00～個別相談会）

場所：ふるさと回帰支援センター

（東京都千代田区有楽町2-10-1 東京交通会館8階）

主催：石川県 共催：ふるさと回帰支援センター



■小津 誠一（有限会社E.N.N.代表）／金沢

1966年石川県金沢市生まれ。武蔵野美術大学造形学部建築学科卒業。2003年金沢にて(有)E.N.N.を設立。東京、金沢の二拠点活動を開始。2007年、初の地方版R不動産「金沢R不動産」をスタートする。2012年より東京からUターン移住して金沢を本拠地として活動。(有)E.N.N.にて建築・不動産事業、(株)嗜季にて飲食店事業を行うほか、町家を再生したショップ「八百萬本舗」や一棟貸しの町家の宿「橋端家」の運営など。町家のリノベーションも多く手がける。



■太田 殖之（株式会社おやゆびカンパニー代表取締役）／能登

1976年東京都生まれ。グラフィックデザイン、WEBデザイン等フリーランスのデザイナーを経て、ウェブシステムの構築、地域メディアの研究開発・啓蒙活動、社会的企業の創業支援の他、まちづくり施設の立ち上げ・運営に従事。2014年、妻の実家がある七尾市にUターン（嫁ターン）。2017年より株式会社おやゆびカンパニー代表取締役。古民家体験型カフェ「ろくでなし」、ゲストハウス「B&B45」を運営。自身も古民家に住まう。また同年10月より七尾市の移住コンシェルジュに。2018年には移住・Uターンした仲間10人と能登半島七尾移住計画を立ち上げ、能登・七尾へ移り住みたい方々のサポートを行っている。

参加申込書（FAX）

参加申込書に必要事項をご記入いただき、下記申し込み先までFAXしていただくか、メールに必要事項をご記入の上、お送りください。またインターネット（QRコード）からもお申込みいただけます。

ご住所	〒					
参加者	代表者お名前(ふりがな)	年齢	性別	参加人数	人	
	同行者①お名前(ふりがな)	年齢	性別	同行者②お名前(ふりがな)	年齢	性別
TEL			メール			

※申込書に関わる個人情報は、地域おこし協力隊及び移住に関する業務にのみ利用いたします。
※当日参加も可能ですが、個別相談はお申込みの方を優先させていただきます。

お問い合わせ／申し込み先

いしかわ「第二のふるさと」推進実行委員会
(石川県企画振興部地域振興課内)

TEL : 076-225-1312
FAX : 076-225-1328
MAIL : iju@pref.ishikawa.lg.jp

イベントの詳細
お申込みはこちら ▶



<https://ishikawa-note.jp/event/203>

会 場

NPO法人ふるさと回帰支援センター

(東京都千代田区有楽町2-10-1東京交通会館8階)

■JR

有楽町駅 京橋口・中央口（銀座側）徒歩1分

■東京メトロ

各線 有楽町駅【D8】出口 徒歩1分

各線 銀座一丁目駅【2】出口 徒歩1分

各線 銀座駅【C9】出口 徒歩3分

